

令和3年度 JA種子屋久 自己改革の取り組みについて

JA種子屋久では、「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に自己改革に取り組んでいます。令和3年度に取り組んだ「農業者のコスト抑制対策」の一部をご紹介します。

農業者のコスト抑制対策



畜産事業における主な対策

- ①加速化事業（国）8,900万円／420頭
- ②自家保留牛1頭あたり5,000円助成／助成総頭数677頭
- ③生産性向上対策（イージーブリード（発情促進材）の助成）
1回あたり1,000円助成／助成総回数1,536回
- ④損耗防止対策（子牛へのワクチン接種）1頭あたり250円助成／助成総頭数5,386頭
- ⑤ボツリヌス病対策（親牛へのワクチン接種）1頭あたり350円助成／助成総頭数1,894頭

経済事業における主な対策

- ①さとうきび・でん粉原料用甘しょ生産性向上対策
さとうきび種苗助成 2,370千円
- ②でん粉原料用甘しょ・青果用さつまいも生産安定対策
生分解性マルチ助成 1,589千円
育苗ハウス・資材・一部助成 650千円
「基腐れ」軽減対策 バイデルマ資材助成 3,663千円
アミスター20フロアブル一部助成 2,489千円
- ③園芸品目の安定生産対策
新規品目の検討（オクラ・ショウガ・サトイモ 220千円）
- ④果樹品目安定生産
苗木助成・微生物農薬 921千円
- ⑤鳥獣害対策（シカ・ヒヨドリ）ネットの一部助成 207千円
- ⑥スマート農業支援
ドローンによる農薬の試験散布 13ha
きびトラの普及推進一部助成 242千円
- ⑦廃プラ処理料金の一部助成 2,483千円
- ⑧部会組織肥料予約結集推進対策の実施（9部会）1袋あたり10円～50円助成
- ⑨大口取引先への事業利用分量に応じた購買資材価格値引き及び助成
乾草大口需要対策（1個あたり45円～100円助成）
肥料大口需要対策（1袋あたり40円助成）
肥料大規模農家対策（1袋あたり100円～250円助成）
農薬大口需要対策（供給実績に対し2%～8%助成）
予約肥料・飼料の価格値引き（全品目1袋あたり20円～25円値引き）
春肥予約肥料自己取り価格値引き（1袋あたり30円～40円値引き）
予約農薬の価格値引き（予約全品目2%値引き）
- ⑩サトウキビマルチフェアによる価格値引き（1本あたり60円～510円値引き）
- ⑪飼料用肥料特別販売フェアによる価格値引き（取扱品目2品目、100円値引き）
- ⑫予約肥料先取り助成（1袋あたり50円～230円助成）



獅子座
7/23
～8/22

【全体運】上昇運です。一筋縄ではいかないことも諦めずに続ければゴールへと前進。迷ったときには初心に返って◎
【健康運】頑張り過ぎは禁物。休憩を入れましょう
【幸運を呼ぶ食べ物】トウガラシ

JAたねやく
2022・7

6